

未判定外来生物の輸入届出の概要

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律第 21 条に基づき、未判定外来生物の輸入の届出の概要は以下のとおり。

1. 届出の内容

- (1) 届出の日：平成 18 年 3 月 11 日（土）
- (2) 届出の受理日：平成 18 年 3 月 13 日（月）
- (3) 届出の種類：未判定外来生物の輸入の届出（法第 21 条関係）
- (4) 未判定外来生物の種類、入手国名、生態的特性に関する情報

未判定外来生物の種類	入手国名	生態特性に係る情報	
		本来の生息地・生育地の分布状況	文献その他の根拠を示す資料
ドウナガテナガコガネ <i>Euchirus longimanus</i>	インドネシア	インドネシア・マルク諸島（セラム・マニパ・アンボンブル）、スラウェシ島	「テナガコガネ・カブトムシ」 「ヤンバルテナガコガネ」
セスジドウナガテナガコガネ <i>Euchirus dupontianus</i>	フィリピン	フィリピン（ミンダナオ、ディナガット、マリンドック、ミンドロ、カタンドゥアネス、ルソン島）	
ヒメテナガコガネ <i>Propomacrus bimucronatus</i>	トルコ	ユーゴスラビア南部～ギリシャ東南部、トルコ西部、南部、シリア北西部、イスラエル北部、イラン南西部	
ダビッド ヒメテナガコガネ <i>Propomacrus davidi</i>	中国	中国江西省	

2. 届出の添付資料

(1) 届出者資料

＜在来種との交雑の可能性について＞

＜本邦への生態系への影響について＞

テナガコガネ属及びクモテナガコガネ属の交尾器の写真

(2) 生態系等に関する文献等

- ・水沼哲郎（1999）コレクションシリーズーテナガコガネ・カブトムシ．ESI.
- ・水沼哲郎（1984）ヤンバルテナガコガネ．朝日出版社．
（別添のとおり）

< 在来種との交雑の可能性について >

Cheirotonus テナガコガネ属は複数の種類の混棲地域が存在し、交尾器については図示された僅かな差異を以て生殖的隔離が存在する。

添付の交尾器の画像は

左が *Cheirotonus macleayi*

右が *Euchirus longimanus*

両者間のサイズ、形状において著しい差異が認められる。

本邦における在来種は *Cheirotonus* であるが、分類上別属に分類され、形態的にも著しい差異をもつ両者間に交雑は困難であると思われる。

< 本邦への生態系への影響について >

ヒメテナガコガネ、クモテナガコガネ共に、適応している現地の環境においても「珍品」であり、環境の異なる本邦の野外での繁殖は困難であると思われる。

